

# 国際交流 Newsletter

2018年 8月号

発行 延岡市役所総務部国際交流推進室（総務課内）（国際交流員： カリナ・ブリス）

〒882-8686 延岡市東本小路2-1 T e l . (0982) 22-7006 M a i l : kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp

ドイツのメルヘン ・ German Folktales ・ Märchen

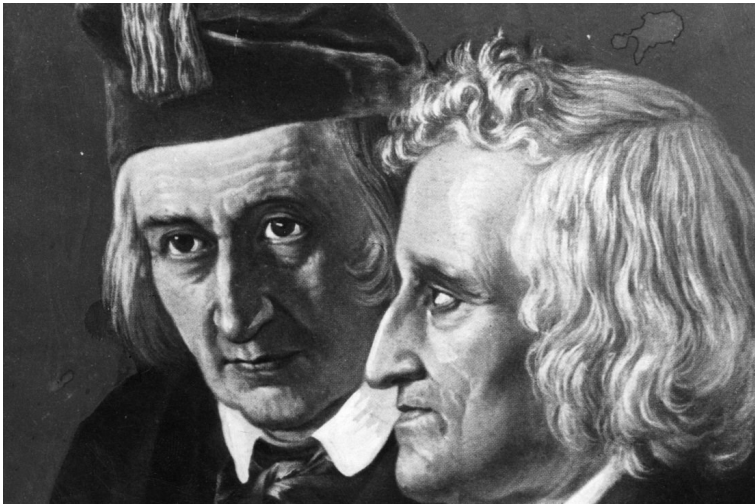


世界中のどの国でも、メルヘンがあると思いますが、グリム兄弟がドイツで編さんしたメルヘンが最も有名でしょう。それを知ると、ドイツ語の「Märchen」という言葉が日本語で「メルヘン」と呼ばれるようになったことも、驚くことではありませんね。日本国内の様々なまちで「メルヘン広場」や「メルヘン交差点」などというところがあります。妖精がメルヘンの中にたまに出てきますので、英語ではフェアリーテール (Fairy Tale) という言葉も使われています。ただし、メルヘンも様々ありますので、妖精ではなく、他の魔法的なモノが現れる場合もあります。そして、ハッピーエンド（フェアリーテール・エンド）ではないメルヘンもあります。

In allen Ländern der Welt gibt es Märchen, doch besonders bekannt sind die Märchen, welche die Brüder Grimm in Deutschland gesammelt und aufgeschrieben haben. Und so ist es nicht verwunderlich, dass der deutsche Begriff „Märchen“ als „meruhen“ auch im Japanischen verwendet wird. Reist man durch Japan, so kann man in einigen Städten einen „Märchen-Platz“ oder eine „Märchen-Kreuzung“ finden, die meist auch etwas Märchenhaftes an sich haben. Auf Englisch wird für Märchen oft der Begriff „Fairy Tales“ verwendet, der darauf deutet, dass in Märchen manchmal Feen eine Rolle spielen. Zwar kommen diese in einigen Geschichten vor, jedoch sind es oft nur andere magische Wesen oder Magie, welche Teil eines Märchens sind. Und auch nicht alle Märchen haben ein glückliches Ende.

Ursprünglich wurden Märchen in Deutschland und ganz Europa mündlich erzählt und weitergegeben. Dadurch haben sich jedoch im Laufe der Zeit verschiedene Versionen der Märchen verbreitet. Im Jahr 1806 haben dann die deutschen Brüder Jacob und Wilhelm Grimm angefangen, Märchen zu sammeln und aufzuschreiben. Sie sind zum Sammeln der Märchen jedoch nicht durch das Land gereist, sondern haben sich die meisten der Märchen in ihrer eigenen Wohnung von verschiedenen, gebildeten Personen erzählen lassen. 1812 und 1815 haben die Brüder Grimm dann die erste Auflage der „Kinder- und Hausmärchen“ herausgegeben, welche heute auch als Grimms Märchen bekannt ist.

昔、メルヘンは口承文学として、ヨーロッパの様々な所まで広がっていました。それにより、メルヘンの内容がだんだん変わっていき、様々なバージョンが現れるようになりました。それで、1806年にドイツ人のグリム兄弟はメルヘンを集め始めたのです。ただし、収集のために様々な所に行ったりしたわけではなく、自分たちが住んでいたアパートに教養の高い人などを呼んで、メルヘンを教えてもらいました。そして、1812年と1815年にグリム兄弟は「子供たちと家庭の童話」という童話集の初版を出版しました。この童話集は「グリム童話」とも呼ばれて、有名になりました。



グリム兄弟



ねずみ捕り男

In der ersten Auflage waren jedoch viele Märchen noch so geschrieben, dass sie sich nicht für Kinder geeignet haben. Einige Märchen galten zum Beispiel als zu brutal. Um ihre Bücher besser zu verkaufen haben die Gebrüder Grimm die Märchen daher überarbeitet und entschärft. Die ersten Ausgaben der Grimms Märchen sind heute über 200 Jahre alt und die wenigen noch erhaltenen Originalausgaben der ersten Auflage sind heute UNESCO Weltkulturerbe. Seit 1975 gibt es die „Deutsche Märchenstraße“, welche von Hanau, der Geburtsstadt der Brüder Grimm, bis nach Bremen zu den Bremer Stadtmusikanten führt. Die Straße ist über 600 Kilometer lang und führt durch verschiedene Städte und Gegenden und Naturparks, die einen Bezug zu Märchen haben. So befindet sich auf dem Weg ein Schneewittchenmuseum, das Dornröschenschloss Sababurg und auch Hameln, die Stadt des Rattenfängers von Hameln.

初版では、メルヘン集は子供向けの童話としては書かれていませんでした。例えば、初版のメルヘンは子供にとって教育上悪過ぎると言われていました。それで、グリム兄弟は販売部数を増やすため、メルヘン集を子供のために書き直しました。グリム童話の初版は200年以上前に書かれて、現在まで残っている初稿版はユネスコの世界遺産となっています。1975年に、グリム兄弟が生まれたハーナウ市からブレーメン音楽隊で有名なブレーメン市までの街道は「ドイツ・メルヘン街道」と呼ばれる観光街道となりました。この長さ600kmの街道は、メルヘンに関係があるまち、地域、そして自然公園から成っています。例えば、「白雪姫博物館」、「いばら姫の城・ザバブルク」、そして「ねずみ捕り男」の町ハーメルン市です。

Die von den Brüdern Grimm gesammelten Märchen gelten als Volksmärchen, da sie mündlich überliefert wurden und der ursprüngliche Autor nicht bekannt ist. Es gibt jedoch auch viele, zum Teil in den letzten Jahren verfasste Kunstmärchen, bei denen der Autor namentlich bekannt ist. Oft greifen diese modernen Märchen Themen aus alten Märchen auf. Ein bekanntes Beispiel ist das Kunstmärchen „Ensel und Krete“ von Walter Moers, welches im Jahr 2000 erschienen ist. In diesem Märchen verirrt sich der Halbwerg Ensel mit seiner Schwester Krete in einem magischen Wald. Das Buch spielt immer wieder auf verschiedenen Märchen und andere literarische Werke an und wurde von Moers selbst als Märchenparodie bezeichnet.

Bis heute sind aber vor allem die alten Volksmärchen in Deutschland bekannt und beliebt. Und so gibt es sogar den Beruf des „Märchenerzählers“. Märchenerzähler besuchen zum Beispiel Schulen oder Seniorenheime oder treten bei Veranstaltungen auf, um dort Märchen frei zu erzählen. Eine besonders schöne Atmosphäre haben Märchenabende mit Lagerfeuer oder in einem Märchenzelt, bei denen die Erzähler die teilnehmenden Kinder und Erwachsenen mit in die Welt der Märchen nehmen. Besucht doch einmal so eine Veranstaltung!

グリム兄弟が集めたメルヘンは元々口承文学であり、作者も知られていませんので、いわば「民俗メルヘン」です。それ以外に「創作メルヘン」もたくさんあります。それは作者の名前が知られている、最近でも書かれているメルヘンです。現在のメルヘンはよく民俗メルヘンと同じようなテーマを持っています。一つの例は2000年にヴァルター・ミョルス作家が書いた「エンゼルとクレーテ」という創作メルヘンです。半小人のエンゼルは妹のクレーテと魔法の森の中で迷子になるメルヘンです。本の中に、他のメルヘンや小説などを暗示することが多く、「エンゼルとクレーテ」はミョルス作家によるメルヘンのパロディーです。

今でもメルヘン、特に昔の民俗メルヘンはドイツでよく知られており、人気です。それで、メルヘン講談師という仕事もあります。メルヘン講談師はメルヘンを教えるため、学校や老人ホームを訪問したり、イベントに出たりもします。キャンプファイヤーの近く、またはテントの中での「メルヘンの夜」というイベントなら、雰囲気がとてもいいです。その際、メルヘン講談師は参加している子供や大人と一緒にメルヘンの世界へ連れて行ってくれます。機会があれば、参加してみてください。



## 簡単なドイツ語を紹介します！

Märchen	メーアヘン	メルヘン
Bilderbuch	ビルダーブーフ	絵本
Geschichte	ゲシヒテ	物語
erzählen	エアツエーレン	物語る

## 世界のキレイなまちの紹介

ブレーメン  
Bremen (ドイツ)

ドイツ、ブレーメン州

人口: 約56万人



今月のニュースレターではブレーメン音楽隊のまちとして知られているブレーメン市を紹介します。

ブレーメン市は北ドイツのブレーメン州の大きな川沿いの都市です。実は、そのブレーメン州はとても小さくて、たったの2つの都市にしか分かれていません。もう一つの都市はブレーマーハーフェン市というヴェーザー川の河口にある港湾都市です。そして、ブレーメン市はニーダーザクセン州に取り囲まれていて、ブレーマーハーフェン市とは離れています。

ブレーメン市はグリム童話の「ブレーメンの音楽隊」に出てくるまちです。メルヘンの中では、年をとっている、仕事ができなくなったロバ、犬、猫、そしてニワトリは住んでいる家を出て、ブレーメン市で音楽隊として活動したいと思っています。ブレーメン市に行く途中で、動物達は森の中で泥棒たちの家を見つけます。泥棒を追い出すために、ロバの上にイヌが乗り、イヌの上にネコが乗り、そしてネコの上にニワトリが乗ります。それで動物達は窓の前に立って、大声で鳴きます。泥棒たちはとても驚いて、すぐ逃げます。それで、動物達はブレーメン市に行くことを諦めて、森の中の家に住み始めて、童話が終わります。ブレーメン旧市街では音楽隊の2mほどの高さの銅像があり、観光スポットとなっています。

音楽隊の銅像がドイツ・メルヘン街道の終点です。銅像があるマルクト広場の周りには、煉瓦作りの家がとても多いです。そして、もう一つの有名な像が建てられています。それはローラント像という10m以上の高さがある、ブレーメンの特徴になった男性の姿の像です。そのローラント像はブレーメン市庁舎と一緒に、「ブレーメンのマルクト広場の市庁舎とローラント像」としてユネスコ世界遺産に登録されています。

ブレーメン市では、港湾博物館、ユニヴァーзумと言うサイエンスセンターなど、たくさんの博物館があります。その中にはヨーロッパで最も重要な民族博物館の1つもあります。それはブレーメン中央駅のすぐ近くにあるユーバーゼー博物館と言う100年以上の伝統を持っている博物館です。博物館内にはオセアニア、アジア、アフリカ、アメリカの自然や文化、手工芸作品が展示されています。

ユーバーゼー博物館とマルクト広場の間に、ブレーメン市で最も古い公園があります。そのブレーマー・ヴァルアンラーゲンという公園では17世紀までブレーメンの市壁や防衛施設が設けられました。そして、公園の中には大きな風車も建てられています。

ブレーメン旧市街

ブレーメン中央駅の近くにある公園



ヴェーザー川

# COMICコーナー



漫画担当：  
エリン・クシング  
出身：アメリカ  
年齢：24歳  
4年目のALT



## ドイツ料理コーナー

楽しい料理教室で「紫キャベツの煮込み」を作ったことがあります。南ドイツの伝統料理として人気のある家庭料理やレストラン料理です。是非、作ってみてください！

ブラウクラウト

# Blaukraut

紫キャベツの煮込み

出来上がりの分量：6人前  
調理時間：50時間



## 材料

紫キャベツ  
1/2個

リンゴ  
1個

シナモン（スティック）  
1本

玉ねぎ  
1個

クローブ  
4個

バター  
大さじ2

砂糖  
大さじ2

酢  
大さじ1

塩  
少し

片栗粉  
少し

水

## 作り方

- 1:  
紫キャベツを洗って、千切りにする。
- 2:  
玉ねぎとリンゴの皮をむき、玉ねぎは半分に切り、リンゴは千切りにする。
- 3:  
クローブを玉ねぎに刺す。
- 4:  
鍋にバターを溶かし、玉ねぎ、リンゴ、砂糖を入れて、炒める。
- 5:  
4の鍋に紫キャベツと酢を入れて、混ぜる。
- 6:  
水（200ml）、塩、シナモンを入れて、30分程煮込む（中火）。時々かき混ぜ、水分がなくなったら、水を少し入れる。
- 7:  
玉ねぎとクローブとシナモンを取り出し、片栗粉を少量加えて、とろみが少しいたら、出来上がり。



# Upcoming Events!

これからの国際交流イベント



## ドイツ柔道連盟 U18夏合宿 in 延岡 8月16日~30日

### ドイツ語講座 & ランチと国際交流フリートーク

日時： 8月1日(水) & 9月5日・26日(水) 11時~13時

場所： 社会教育センター 8月1日、9月5日：会議室2 9月26日：会議室3

⇒ ①ドイツ語講座：簡単なドイツ語の勉強

時間：11時~12時

⇒ ②ランチと国際交流フリートーク：ランチを食べながら、日本語や英語や

ドイツ語で会話をしましょう！

時間：12時~13時 (\*お弁当を持参してください。)

※申込み不要です。

※①②どちらかみの参加もできます。

ゴミだしルールブックの英語版を作成しました。

### Nobeoka City Trash Disposal Guidebook

The International Exchange Promotion Office produced an English version of the Nobeoka City Trash Disposal Guidebook. A printed version is available at: Nobeoka City Hall, Clean Center, Nobeoka City Toumi/Igata/Shimanoura/Kitakata/Kitaura/Kitagawa branch.

You can also download the file here:

<http://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/display.php?cont=180530171045>

Facebookもチェック



Nobeoka International - 延岡市国際交流推進室

### ドイツ語で話してみよう！

日時： 8月8日(水) & 9月12日(水) 18時~19時

場所： 社会教育センター 8月：研修室4 9月：研修室6

内容： ドイツ人の国際交流員とドイツ語で様々なテーマについて話してみよう。

ドイツ語を楽しみながら、レベルアップできます！8月のテーマは「童話」です。

参加者： ドイツ語で話してみたい方、参加してみてください！聞いただけでも大丈夫です！

※申込み不要です。

連絡先 (申し込み・質問・コメントなど)

Tel. (0982) 22-7006 (総務課内)

Mail: [kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp](mailto:kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp)

国際交流ニュースレター作者：カリナ・ブリス

出身：ドイツ、アウグスブルク市

2016年8月から延岡市の国際交流員

